

令和8年度第1回長崎県在宅医療スタートアップセミナー開催要領

1 目 的

本県においては、2040(令和22)年頃まで85歳以上の高齢者人口の増加が見込まれる等、高齢化が進展することに伴い、医療と介護の両方を必要とする慢性疾患患者等の増加が予測されている。

そのような中、県民の約6割が住み慣れた場所での療養を希望しており、在宅医療の需要は今後さらに高まると見込まれ、「治す医療」から「治し、支える医療」の充実が求められている。

一方で、県内の多くの地域において、医師等の高齢化に伴う診療所の閉院等により、在宅医療の担い手確保が課題となっている。

このような状況を踏まえ、本セミナーでは、医療従事者に対し、在宅医療の需要見込み等の現状や魅力、実践事例等を発信することで、県内における在宅医療への関心を高め、医師等の在宅医療に携わる機会の創出を図るとともに、持続可能な在宅医療体制の構築に資することを目的とする。

- 2 主 催** 長崎県(福祉保健部 医療政策課)
(共催) 日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社
(後援 案) 長崎県医師会、長崎県歯科医師会、長崎県薬剤師会、長崎県看護協会、
長崎県理学療法士協会、長崎県作業療法士会、長崎県言語聴覚士会

- 3 時 期** (第1回) 令和8年9月13日 (日) 13:00~16:30

- 4 方 法** ハイブリット方式 (※交流会は現地参加者のみ)
(第1回) ミライ on 図書館(大村市東本町481)

- 5 対 象** 在宅医療の実践や、地域における多職種連携、在宅医療を実践する医療機関との連携等に関心がある医師等の医療従事者

- 6 内 容** (総合司会) 長崎県医師会 副会長 藤井 卓 先生

時 間	内 容
13:00	○開会あいさつ 長崎県福祉保健部 医療政策課長 高見 誠
13:05 (15分)	○行政説明 「長崎県内における在宅医療の現状と今後の必要性について」(仮題) 長崎県福祉保健部 医療政策課 医療監(医師) 安藤 隆雄
13:20 (40分)	○講演Ⅰ 経営視点から考える在宅医療 ～令和8年度診療報酬改定を踏まえた診療所・病院の役割と持続可能性～ 平成医療福祉グループ 副代表 坂上 祐樹 先生 (長崎大学 非常勤講師、長崎県病院企業団経営アドバイザー)
14:00	休 憩 (10分)

14:10 (各20分)	○講 演 II (テーマ) わが町の在宅医療の取組について 1) 長崎市の取組 長崎記念病院 在宅部門担当部長 小笠原 貞信 先生 2) 南島原市の取組 訪問看護ステーションフォレスト 管理者 森塚 倫也 先生 3) 東彼杵郡（東彼杵町、川棚町、波佐見町）の取組 東彼杵郡医師会 会長 野中 直道 先生 4) 新上五島町の取組 あおかた調剤薬局 管理薬剤師 鈴木 智香子 先生
15:30 (30分)	○質疑応答・意見交換 ※講演 I、II を踏まえ、全体的な質疑応答・意見交換
16:00 (30分)	交流会（講師・参加者間の交流会） ※現地参加者のみ
16:30	閉 会

- 7 申込方法 令和 8年 9月 1日(火)までに、下記 QR コードにて、申込ください。
※後日、WEB 研修招待状及び資料を送信します。



【参加登録 Forms】 <https://forms.cloud.microsoft/e/jrpXyk7jsU>

- 8 問い合わせ先 長崎県医療政策課
(担 当) 川口
(電 話) 095-895-2467
(メー ル) tomomiii-k@pref.nagasaki.lg.jp